

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針等>

私たち南日本銀行グループは、創業の理念である「相互扶助」の精神及び経営理念に基づく企業活動を通じて、持続可能な社会を実現するための「SDGs」の達成に貢献し、地域の皆さまとともに地域社会が抱える課題の解決と持続可能な地域社会の実現に努め、地域とともに持続的に成長していくことを目指してまいります。

<今期のSDGsに関する重点的な取組、指標及び実績>

三側面	取組の状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	自社のCO ₂ 排出量の削減	2030年までに2013年度比△50%。 (更新時までに2013年度比△47%)	2024年度は、2013年度比50%の削減で、指標を達成。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	女性活躍の推進	2026年度末までに役席者に占める女性比率を38%以上とする。 (更新時までに35%)	2024年度は、35.85% (今年度は、2025年12月末現在、37.65%)であり、更新時の指標を達成。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	育児休業の取得促進	2026年度末までに取得率100%。 (更新時までに女性職員100%、男性職員90%)	2024年度は、法律上の育児休業は、女性100%。男性は、64%の取得率となったが、当行独自の育児目的の休暇を加味すると男性も100%の取得率となった。

・「取組の状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組の実施状況やと指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

<今期の評価>

概ね、全項目で更新時までの指標は達成している状況。次期についても、持続可能な社会を実現するための「SDGs」の達成に貢献し、地域の皆さまとともに地域社会が抱える課題の解決と持続可能な地域社会の実現に努め、地域とともに持続的に成長していくことを目指す。

・SDGsの取組全体について、今期の振り返りや来期の展望などを記載してください。

<次期のSDGs達成に向けての重点的な取組、及び指標>

三側面	SDGsに関する重点的な取組	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	自社のCO ₂ 排出量の削減	2035年度までに60%削減することを目指す。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	女性活躍の推進	更新時までに役席者に占める女性比率を40%以上とする。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	育児休業の取得促進	更新時までに取得率を女性は100%、男性は法律上の育児休業は70%、当行独自の育児目的の休暇は100%とする。

・「SDGsに関する重点的な取組」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載し

事業所名:株式会社南日本銀行

てください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

内容	締結先
災害時における相互協力に関する協定	宮崎太陽銀行、豊和銀行
災害時における相互協力に関する協定 (離島地域)	鹿児島銀行、奄美大島信用金庫
サステナブルファイナンス業務における連携・協力	商工組合中央金庫
危機事象発生における業務提携	日本政策金融公庫

- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。